

国登録有形文化財（建造物）に係る答申について

国の文化審議会（会長 ^{しまたに ひろゆき} 島谷 弘幸）は、令和8年3月26日（木）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、横浜市内に所在する「伊東医院診療棟」ほか3件を登録有形文化財（建造物）に登録するよう文部科学大臣に答申しました。

今回の答申のとおり告示されると、市内の国登録有形文化財（建造物）は53件となります。

今回答申された文化財

■伊東医院診療棟

■伊東医院住居棟

■伊東医院門及び塀

所在地 横浜市戸塚区矢部町

所有者 個人

建築年代 診療棟：大正14年／平成7年、令和2年改修

住居棟：昭和5年

門及び塀：昭和前期

基準 診療棟、住居棟：登録有形文化財登録基準2号該当
(造形の規範となっているもの)

門 及 び 塀：登録有形文化財登録基準1号該当
(国土の歴史的景観に寄与しているもの)

特徴 診療棟は、旧東海道戸塚宿沿いの敷地に北面して建つ。木造二階建半切妻造、^{はんきりづまづくり}外壁モルタル洗出仕上で上下窓を開ける。玄関ポーチの庇は幾何学意匠の持送^{もちおくり}で支え、正面軒に半円形の破風^{はふ}を飾る。地域医療を支えてきた診療所で、内部の室構成も良く残る上質な近代建築。

住居棟は、診療所の南側に西面して建つ。^{きりづまはふ}切妻破風を正面に見せた急勾配のプレート葺洋館の背面に、中廊下沿いに座敷を並べる和館を配す。座敷欄間の組子^{くみこ}は技巧的で、書院の下地窓^{したじまど}など数寄屋風意匠^{すきや}を取込む。破風に持送^{もちおくり}を付し、外観華やかな洋館付き近代和風住宅。

門及び塀は、旧東海道沿いに配された門及び塀。門柱は主体部を切石貼とする他はモルタル洗出^{あらいだし}で仕上げる。塀は出隅にアールを付け、腰は色を変えて横目地を切り、上部に木製ガラリーを嵌込んだ開口を連続的に穿つ。全体に丁寧なつくりで診療所とともに歴史的景観を形成する。

裏面あり



写真 伊東医院診療棟



写真 伊東医院住居棟



写真 伊東医院門及び塀



次頁あり



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



■^{にっかわけじゅうたくおもや}新川家住宅主屋

所在地 横浜市旭区今宿南町

所有者 個人

建築年代 明治中期／昭和 10 年頃増築

基準 登録有形文化財登録基準 1 号該当（国土の歴史的景観に寄与しているもの）

特徴 八王子街道南方の丘陵斜面に東面して建つ農家の主屋。^{いりも やづくりひらりりかやぶき}入母屋造平入茅葺で、軒をせがいにつくり、内部は北側を土間とした^{せいけいよんまどり}整形四間取。小屋内に二層の床を張って蚕室とし、両妻に通風や採光用の窓を開ける。明治期に当地に数多く建てられた養蚕農家の好例。



※本件記者発表は、国（文化庁）及び神奈川県においても同時に行われます。

お問合せ先

教育委員会事務局生涯学習文化財課長 渡辺 貴士 Tel : 045-671-3236



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

